

令和8年度 課方針書

課名	建設課	課長名	青木 睦	作成年月日	令和8年4月6日
----	-----	-----	------	-------	----------

■課等の所管する行政課題等を取り巻く現状（国・県の動向や町民意識等）

（仮称）高畠スマートICの整備は工事に着手し4年が経過、今年度は町道上在家上寝鹿線の接続工事を進めるとともに、東北中央自動車道路を管理するネクスコ東日本が施工する工事と連携を図り安全に工事を進めていきます。

道路や橋梁の経年劣化が進行し安全が危惧されており、国の交付金や補助制度を活用し改修や修繕を進め、町民の安全・安心な道路・橋梁を確保していく必要があります。

人口減少により、空き家の件数が年々増加し地域周辺の治安の悪化や管理不全による倒壊の恐れがあるなど社会問題となっています。町では、空き家の実態を把握し、所有者や管理者に適切な管理を促していきます。相続放棄等による危険空き家に関しては、応急措置又は必要に応じて解体を検討していきます。また、移住定住の促進を図るため、空き家の利用促進と宅地分譲計画の検討を進めていきます。

異常気象による豪雨災害を受け、国、県において国道13号津久茂橋架替事業及び和田川河川改修事業に着手しており、安全安心な地域づくりに向けて、町としても地域住民の理解とご協力を得て事業促進が図られるよう、国、県と連携し進めていきます。

■解決すべき行政課題（現状の問題等点）

- 1 （仮称）高畠スマートICの事業促進
- 2 社会資本の計画的な整備と長寿命化実施
- 3 自然災害を軽減させる河川整備促進
- 4 空き家の適切管理に係る周知及び現状把握
- 5 定住人口を増やすための宅地分譲計画と西町西工業団地拡張計画の推進

■課題解決のための課等の方針（単年度方針と中長期方針）

【単年度方針】

- 1 （仮称）高畠スマートICの円滑な事業実施
 - ・国土交通省、ネクスコ東日本との緊密な連携による事業実施
- 2 日常生活に関わる社会資本の整備・維持管理
 - ・道路・橋梁及び町営住宅の効果的な整備
 - ・国、県が実施する社会資本整備事業への協力支援
 - ・まちづくりの礎となる地籍調査の実施
 - ・特定空き家を減らすための周知と補助制度の拡充
 - ・特定空き家解体（略式代執行）の実施
- 3 定住促進と雇用創出に向けた宅地分譲と工業団地の整備
 - ・旧高畠高校跡地の第3期分譲計画
 - ・西町西工業団地の拡張整備検討

【中長期方針】

- 1 安心な暮らしを支える公共インフラ整備を進める
- 2 ずっと住み続けたいくなる住環境づくりを推進する
- 3 冬期間の安全な生活環境づくりを行う

■今年度の課における施策（重要度順）

重要度 順位	施 策 名	施 策 の 内 容	担 当 係 名	連 携 課 名
1	【安全・安心なまちづくり】 地域社会を支える生活基盤の 整備促進	スマートIC事業の推進 道路新設改・交通安全施設整備 除排雪事業	道路河川係	
2	【安全・安心なまちづくり】 地域社会を支える生活基盤の 整備促進	空き家対策事業 住宅リフォーム・移住定住促進事業	都市住宅係	商工観光課 企画課 町民課 税務課
3	【安全・安心なまちづくり】 地域社会を支える生活基盤の 整備促進	橋梁・公園・町営住宅の長寿命化	道路河川係 都市住宅係	
4	【人が元気な街づくり】 子育て・若者応援・住宅関連	空き家バンク事業 フォーチュンタウン駅西助成事業 移住定住促進事業・住宅リフォーム	都市住宅係 用地係	企画課

■今年度の課における事務事業（重要度順）

（単位：千円）

重要度 順位	事 務 事 業 名	事 務 事 業 の 内 容	担 当 係 名	事 業 費
1	スマートIC事業	スマートIC町道舗装工事	道路河川係	170,282
2	道路改良、橋梁長寿命化事業	道路改良工事・橋梁長寿命化診断及び 工事	道路河川係	172,868
3	維持管理事業	町道管理・舗装修繕工事・町道除排雪・ 河川整備・公園管理	道路河川係 都市住宅係	337,971
4	住宅事業	町営住宅管理・空き家対策事業・住宅 リフォーム・移住定住促進事業・住宅耐震化 事業・フォーチュンタウン補助	都市住宅係	32,250
5	財産管理事業	地籍調査・普通財産、法定外公共物の管理	用地係	29,405
6	除排雪事業	除雪ロータリー車購入	道路河川係	42,000